古石ひでさと5期目に向かっての議会活動　ひでさと

古石 後援会だより

URL：http://古石.com/

第３１１０号
発行日　令和２年４月
古石　ひでさと後援会事務所
岩見沢市幌向南１条１丁目
TEL　２６－２２２６

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

道内２６人院内感染が

道内26人院内感染か

札幌、千歳、遠軽でも

道内で18日に新たに確認された新型コロナウイルスの感染者38人のうち、26人は札幌市や千歳市、遠軽町の病院で感染が相次いで判明した。道内の感染者は一気に広がった。道などは感染者が出た病院を「クラスター（感染集団）が発生した可能性もある」として感染者の調査を急いでいる。4月だけで院内感染が疑われる感染者は少なくとも7病院関係者に上る。

感染者は札幌市内の病院（同）が38人と最多となった。国立感染症研究所（同）が3人、千歳市の病院（同）が2人の感染が判明した。

新型コロナ

危険な再利用

感染症に詳しい、一度限りだ、患者一人を診終わったら廃棄する」などと感染を防ぐこと。着用者の手指の消毒や、着脱を終えたら、着脱を繰り返したりすると、残ったウイルスが飛散源の原因となるため、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」で船内に入った厚労省の対応に、4月中に医療用のサージカルマスク約1千万枚などを配布する。増産体制を敷くとしているが、国民全体で2億1千万枚、需給状況の高い状態が続くとみている。

一方、日本医師会（日医）の試算によると、全国の医療機関では月に必要なサージカルマスクは2億～4億枚。ところが、ガウン約4500万枚、眼の保護具のフェースシールド約900万枚などを購入する。

ごみ袋で代用 常態化

宣言が出されて「防衛策に対し、4月中に医療用のサージカルマスク約1千万枚などを配布する。増産体入する。

一方、日本医師会（日医）の試算によると、全国の医療機関では月に必要なサージカルマスク約2億～4億枚。ところが、ガウン約4500万枚、眼の保護具のフェースシールド約900万枚などを購入する。

防護具不足 現場に「恐怖」

厚生労働省が医療機関などに求めた感染防護具の代替品や再利用方法

サージカルマスク	外すときには外の面を内側にして折りたたみ、繰り返して使用する
N95マスク	名前を記載し、滅菌して同じ人が再利用する
医療用ガウン	撥水（はっすい）性がある雨がっぱなどで代用
消毒液	アルコール度数の高い酒や工業用エタノール
ゴーグル、フェースシールド	アルコールで拭いて、乾かして再利用。ない場合は目を覆うことができる潜水用のシュノーケリングマスクで代用

道、医療機能低下を懸念

道内の医療機関で広がる院内感染は、外来患者の診療や入院患者受け入れの休止にもつながっており、医療機能の低下が大きな課題となっている。重症化の危険が高い高齢者や基礎疾患のある患者の入院をいかに確保するかが、感染拡大防止の鍵を握る。

道は感染症の広島大病院（広島市）の医師らを招き、院内感染の防ぎ方や、複数の病院で院内感染が起きているについて「人院患者3人と入院患者2人の感染が判明した。患者のうち1人はクラスターが発生した千歳市のグループホームの入居者。さらに入院患者や職員の20人以上が感染者と接触歴待ちで、道は緊急対策として検査対象を広げる。

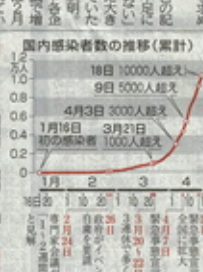
札幌厚生病院も看護師2人と入院患者2人の感染が判明した。

ほかにも前日までに感染者と判明した職員1人と入院患者3人の感染者がいるという。千歳市一病院では、入院患者2人の感染者が判明した。

国内感染者 9日間で倍

国内の新型コロナウイルス感染者は18日、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」の感染者を除いて新たに38人確認された。感染者は3月29日から9日間で倍増のペースで増えている。

国内感染者数の推移（累計）



国内の新型コロナウイルス感染者

国内での確認例　1万04406人（+580）

北海道	402	(+36)	16	青森	22		
岩手	3			秋田	47		
宮城	83	(+1)	11	山形	50		
福島	15			茨城	137	(+1)	11
栃木	60	(+2)		群馬	395	(+15)	13
埼玉	60	(+8)	6	千葉	242	(+7)	13
東京	1135	(+40)	52	神奈川	1163	(+80)	22
新潟	44			富山	70	(+3)	11
石川	120	(+6)	6	福井	64	(+1)	3
山梨	626	(+36)	6	長野	502	(+21)	13
岐阜	605	(+46)	6	静岡	59	(+3)	3
愛知	2975	(+181)	19	三重	45	(+1)	3
滋賀	752	(+46)	4	京都	176	(+2)	7
大阪	1713	(+56)	13	兵庫	1132	(+44)	6
奈良	56	(+3)	1	和歌山	91	(+12)	4
鳥取	15			島根	15		
岡山	173	(+13)	3	広島	137	(+1)	
山口	18	(+6)		徳島	30		
香川	30	(+2)		愛媛	44	(+3)	1
高知	25	(+1)		福岡	502	(+26)	6
佐賀	17			長崎	37	(+2)	1
熊本	17			大分	54		1
宮崎	16			鹿児島	110	(+9)	1
沖縄	110	(+9)	1	空港検疫	7	(+1)	
検疫職員	137	(+1)					

チャーター機帰国者　14人
クルーズ船の乗船者　712人

感染者　1713人（+56）　計 1万1132人（+580）
死者数　237人（+17）

国内感染者 9日間で倍

国内の新型コロナウイルス感染者は18日、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」の感染者を除いて新たに38人確認された。感染者は3月29日から9日間で倍増のペースで増えている。

緊急宣言拡大 繁華街、観光地ひっそり

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、政府の緊急事態宣言の対象地域が全都道府県に拡大されてから初の週末となった18日、道内も商業施設や観光地の休業が相次ぎ、市街地は閑散とした。普段は買い物客でにぎわう週末も、人影はまばら。さらに強まる外出自粛に関係者からはため息が漏れた。（大村みなみ、岩井純、伊藤友佳子）

札幌市中央区の大通公園に隣接してきたという観光の自営業男性（69）は「生活用品がなく、やむを得ず外出した。人が少なく寂しい」と話した。

デパートも18日から丸井今井札幌本店と札幌三越の2店が臨時休業。さっぽろ東急百貨店も、平日の即平1人食料品売り場を除き、臨時休業する。

一方、18日は全館臨時休業した大丸札幌店の食品売り場には入店待ちができていた。中央区の40代会社員女性は「アパートで長い自粛生活になるので、ここが閉まると困る」と配慮する。同店は19日から全館で休業した。テナントの飲食店やJR札幌駅付近では、商業施設や飲食店が軒並みシャッターを下ろし、臨時休業を知らせる張り紙を前に、途方に暮れる市民の姿も。南区のパート従業員鈴木真弓さん（64）は「時給1千円に食品を買いに来る方が減ってきた。開いているところを探している」と困り顔だ。

人少なく寂しい

中央区の会社員鈴木健士さん（34）も「家に過ごすだけ。患者一人を診終わったら廃棄する」などと感染を防ぐこと。着用者の手指の消毒や、着脱を終えたら、着脱を繰り返したりすると、残ったウイルスが飛散源の原因となるため、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」で船内に入った厚労省の対応に、4月中に医療用のサージカルマスク約1千万枚などを配布する。増産体制を敷くとしているが、国民全体で2億1千万枚、需給状況の高い状態が続くとみている。

政府は先月末、一度使用したマスクやガウンなど新型コロナウイルスの感染防護具の不足が発覚。政府は2020年度補正予算案に買い上げ費約1600億円を計上したが、足りておらず、開いているところを探している」と困り顔だ。